

令和2年度児童・生徒表彰

クラブ活動や各種コンクールなどで活躍した児童生徒、町民をたたえる「令和2年度山田町教育表彰授与式」が2月28日、町中央公民館大ホールで行われました。表彰を受けた児童生徒の皆さんをご紹介します。(大会成績は一部抜粋しています。)

【小学生】 ▶ 木下優斗(山田小5年)…第43回全国海の子絵画展・教育美術振興会理事長賞 ▶ 福土遼(山田小5年)…令和2年地域安全運動ポスター・標語コンクール(標語の部)優秀賞 ▶ 佐藤遠汰(山田小4年)、佐藤大斗(山田小2年)…第64回岩手県統計グラフコンクール第2部(小学校3・4年生の部)特選

【中学生】 ▶ 中村聖蓮(山田中2年)…第24回岩手県中学校新人大会陸上競技大会(中学共通男子400m)第1位 ▶ 山田中吹奏楽部打楽器四重奏・貫洞佑奈(2年)、田代心暖(2年)、西川あかり(1年)、堀合愛菜(1年)…全日本アンサンブルコンテスト第41回岩手県大会・金賞

【高校生】 ▶ 黒沢知花(宮古高定時制4年)…第68回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会・文部科学大臣賞

※体育協会表彰と芸術文化協会表彰は、3月31日発行の「体育協会だより」「芸文協だより」に掲載します。

町では、オランダ王国を相手に復興ありがとうホストタウン事業に取り組んでいます。昨年度は、オランダ人空手道選手のシスカ・ファンデルフォールト選手の支援として、山田

産の食材を利用した出汁を町内企業と東京の八芳園が協力して開発。昨年12月に東京でイベントが開かれ、完成した出汁の披露に併せ、町の復興状況などの報告をオンラインで行いました。

その後、出汁とともに町で制作した応援動画をシスカ選手に届けました。(動画はYouTubeに投稿しています) この他、オランダでフードコーディネーター業を手掛けるCOBENITO社によるオンライン食文化交流イベントが開かれ、出汁活用料理が紹介されました。本年度も、オランダとの交流

東京2020オリ・パラ大会コーナー①

コーナーでは、大会を盛り上げるための事業やイベントなどを7回に分けて紹介します。

東京2020大会を盛り上げよう!!



復興ありがとうホストタウン事業 山田産食材の出汁作成

鯨峰爽やかに

四月。草や花、木、虫や動物などあらゆる生き物が動き始め、活発になっていきます。空気が和らぎ始めるような気がするの、万物が深呼吸しているからでしょうか▼ヒトは太古の昔から自然と触れ合いながら暮らしてきたため、急に自然と離れると不調を起こす原因になっているのではなにかという説があります。言われてみれば私たちも大人になるにつれ自然から遠ざかりがちですが、たまに山登りや海、川に行くと感じる“癒し”の感覚は正にこれなのでしょう▼山仕事など自然を相手に仕事をしている人は、年齢を重ねられてもお元氣な方が多いような気がします。体を動かしているのも大きな理由の一つだとは思いますが、おそらく自然の変化に敏感で見逃さずに生活しているからではないでしょうか▼豊かな自然に囲まれた山田町さあ、外に出かけて、大きく深呼吸してみましよう。

教育長 佐々木 茂人